

★学校の教育目標	○たくましい子 ○たすえあう子 ○かかんがえる子	★重点計画の概要	日野市第4次学校教育基本構想「子供たちがつくる学校」プロジェクト」に基づき、学校経営目標を「みんなが安心・成長できる学校」とする。自己決定を重視した授業を行うことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、学校行事を自分たちでつくっていったり、地域や社会をよりよくするために活躍したいと思ったりする児童を育てていく。
★目指す学校像（ビジョン）			
【目指す児童像】	○たくましい子「心身ともに健康な体・行動力」「社会貢献力」 ○たすえあう子「豊かな感性・創造性」「人間関係形成力」「自己肯定感」 ○かかんがえる子「基礎・基本となる力」「表現力・発信力」「対話力」「自己有用感」		
【目指す学校像】	みんなが安心・成長できる学校		
【目指す教師像】	○すべての”いのち”を守り育む教師 ○子供一人一人を大切にしたい温かい学級をつくる教師 ○地域をステージに、主体的・対話的で深い学びを創造できる教師 ○生活科・総合的な学習の時間、特別支援教育の専門的な知識や技能を身に付けた教師		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策
				評価点	取組指標	評価点	成果指標		
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	学校安全の充実と教育環境の整備を図る。	自他を大切に、いじめや不登校が発生しにくい土壌を、子供、学校、保護者、地域、関係機関で醸成する。	<p>○3回のふれあい月間を核として、「学級のよりよい雰囲気をつくるための指導」と「いじめ防止の指導」を行い、いじめや不登校が発生しにくい風土をつくる。</p> <p>○日頃から子供の変化を察知するとともに、生活アンケート（5月、7月、9月、11月、2月）を実施して、いじめの未然防止、早期発見を図る。</p> <p>○年間を通して、学期に1回、道徳科で友情・信頼・思いやり等に関する授業を実施する。</p> <p>○児童が欠席した場合は直ちに家庭に連絡を取り、子供についての情報共有と行動連携を図る。</p> <p>○子供の状況に応じて迅速に対策委員会を開き、必要な関係機関（スクールカウンセラーや校内別室指導員、日野市子供家庭支援センター、児童相談所や日野警察等）と連携して、不登校の解消を図る。</p>	4	生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万がいじめが発生した時には、いじめ対策防止委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が90%以上。	4	相手の気持ちを考えて思いやりのある言動に気を付けている児童が90%以上	<p>道徳の授業やふれ合い月間等、学校の取り組みの成果が表れている。子供たちも学校で学んだことを実践している証拠だと思ふ。</p> <p>思いやりを育む教育は、学校だけではなく地域や家庭と連携した取り組みを行うことで、より効果が上がることができるよう、学校での取り組みとされるため、そのような取り組みを学校便りやホームページ等を活用して、地域や家庭に発信する。</p>	
				3	生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万がいじめが発生した時には、いじめ対策防止委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が85%以上。	3	相手の気持ちを考えて思いやりのある言動に気を付けている児童が85%以上		
				2	生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万がいじめが発生した時には、いじめ対策防止委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が80%以上。	2	相手の気持ちを考えて思いやりのある言動に気を付けている児童が80%以上		
				1	生活アンケートをもとにしたいじめの未然防止・早期発見に努め、万がいじめが発生した時には、いじめ対策防止委員会にて迅速に対応を講じ、児童の指導にあたった教員が80%未満。	1	相手の気持ちを考えて思いやりのある言動に気を付けている児童が75%未満		
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	主体的・対話的で深い学びを実現させることにより、ワクワクする授業を行う。	日野スタンダード（UDユニバーサルデザイン）の授業を基本として、一律一斉の学びから、自分を知り、相手を知り、自分たちで考え、語り合いながら生み出す学び合いと活動を実践する。	<p>○授業のユニバーサルデザインに基づく問題解決型の授業をおし、できる楽しさ、分ける楽しさ、認められる楽しさを味わわせる授業を実践する。</p> <p>○「教わる」だけでなく、各教科等で子供たち自身が分かち合うための個別学習・教え合い学習を行い、みなが参加しともに知恵を出し合う授業実践をする。</p>	4	UDを基にした授業を構成し、対話等を通じた探究的な活動を図った教員が85%以上	4	「友達と意見や考えを伝えたり、聞いたりすることを通して学び合うことができた」児童が85%以上	<p>児童との面談を設けるなど、学校の取り組みは十分にできていると思ふ。しかし、高学年になると、心配をかけたくないなどの思いが働き、親や先生に相談しにくい状況にあるかもしれない。学校だけで解決することが難しいケースもあるため、早めに関係機関と連携していくことが必要だと思ふ。</p> <p>成果を感じている児童の割合が、昨年度に比べて高くなっていることは、先生方の日頃の取り組みとこと、友達同士で意見や考えを伝え合う学びが大切だと思ふ。これらも、それぞれの教科で学んだことを生かしながら、児童が関心をもって参加できる授業づくりを目指してほしい。</p>	
				3	UDを基にした授業を構成し、対話等を通じた探究的な活動を図った教員が80%以上	3	「友達と意見や考えを伝えたり、聞いたりすることを通して学び合うことができた」児童が80%以上		
				2	UDを基にした授業を構成し、対話等を通じた探究的な活動を図った教員が75%以上	2	「友達と意見や考えを伝えたり、聞いたりすることを通して学び合うことができた」児童が75%以上		
				1	UDを基にした授業を構成し、対話等を通じた探究的な活動を図った教員が75%未満	1	「友達と意見や考えを伝えたり、聞いたりすることを通して学び合うことができた」児童が70%未満		
社会と未来に開き、みんなてつくる	日常的・継続的な運動と安全指導の充実を図ることにより、心身の健康や粘り強さを育成する。	体を動かす楽しさ・心地よさを味わわせる取り組みを充実させて、生涯スポーツの態度を養うとともに、健康で安全な生活を送るための資質・能力を育む。	<p>○外遊びの推進、体育授業での運動量の確保、体力向上を図る活動の充実に取り組むことで、運動に親しむ態度を育む。</p> <p>○外部講師を招聘し「本物に触れる体験授業」を実施し、授業改善を図る。</p>	4	「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が90%以上	4	運動を行ったり運動に関わったりすることは楽しい児童が95%以上	<p>校庭活用に制限がある中、90%の児童が「運動は楽しい」と回答していることは、先生方のご指導とご尽力のおかげである。体を動かすことは、身体的にも精神的にもいいことである。特に運動に苦手意識をもっている児童に、体を動かす楽しさを伝えてほしい。</p>	
				3	「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が85%以上	3	運動を行ったり運動に関わったりすることは楽しい児童が90%以上		
				2	「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が80%以上	2	運動を行ったり運動に関わったりすることは楽しい児童が85%以上		
				1	「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現すること」を意識し、授業や体育的活動において体育科の資質能力の向上を図る指導を行った教員が80%未満	1	運動を行ったり運動に関わったりすることは楽しい児童が80%未満		
社会と未来に開き、みんなてつくる	全教育活動において、「子供たちがつくる学校プロジェクト」を推進する。	学校行事、児童会活動、委員会活動、クラブ活動、たてわり班活動において、自覚と責任を育てるために、児童にリーダーとなる経験をさせるとともに、児童の主体性を生かした活動を行う。	<p>○各教科等を学ぶうえでの基盤となるように、自分の考えをもち、話し合い、考えを深める活動を中心にした学級活動を充実させ、学校生活上の様々な課題を主体的に解決しようとする態度を育成するとともに、一人一人の個性や能力を認め合う学級集団を形成する。</p> <p>○「キャリア・パスポート」を活用しながら児童が自らの成長を実感できるよう系統的な指導を行う。</p>	4	「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が90%以上	4	自分の「やりたい」という気持ちを、学級や行事等でもつことができた児童が80%以上	<p>学校行事やクラブ、委員会等の活動で、子供たちが自発的に考え、行動している様子が多く見られ、とても頼もしく思ふ。児童の主体性を重視して下さっている先生方の指導のおかげだと思ふ。「子供たちがつくる学校プロジェクト」は、児童の自主性を育み、ここで得た経験が将来へつながると思ふ。</p>	
				3	「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が85%以上	3	自分の「やりたい」という気持ちを、学級や行事等でもつことができた児童が75%以上		
				2	「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が80%以上	2	自分の「やりたい」という気持ちを、学級や行事等でもつことができた児童が70%以上		
				1	「子供たちがつくる学校プロジェクト」を意識した教育活動を実践した教員が80%未満	1	自分の「やりたい」という気持ちを、学級や行事等でもつことができた児童が65%未満		
社会と未来に開き、みんなてつくる	地域をステージとした学びを通して、自己有用感を味わわせ、豊かな人間性と社会性の育成を図る。	学校・保護者・地域と共に、生活科・総合的な学習の時間を中心に、一人ひとりが多様な学び方で学ぶ教育活動を推進する。	<p>○コミュニティ・スクールを活用し、より一層地域参画型の教育活動や地域人材を活用した体験学習等、地域をステージとした主体的・対話的で深い学びを充実させる。</p>	4	地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が90%以上	4	地域や「自然教育の林」での学習で、探究的な活動ができた児童が85%以上	<p>自然教育の林の活用、総合的な学習の時間での地域人材の活用は、大切である。地域には、様々な分野での専門家がいる。できることがあれば、ぜひ協力したい。その際は、先生方や児童の意見を聞きながらすすめていくことが必要だと思ふため、協議の段階から参加させていただきたい。</p>	
				3	地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が85%以上	3	地域や「自然教育の林」での学習で、探究的な活動ができた児童が80%以上		
				2	地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が80%以上	2	地域や「自然教育の林」での学習で、探究的な活動ができた児童が75%以上		
				1	地域人材や「自然教育の林」を活用し、地域をステージとした教育活動を実践した教員が80%未満	1	地域や「自然教育の林」での学習で、探究的な活動ができた児童が70%未満		

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。